



独立行政法人国立病院機構
沖 縄 病 院

〒901-2214
沖縄県宜野湾市我如古3丁目20番14号
TEL : 098(898)2121
FAX : 098(898)6433 (地域連携室直通)

2022年2月 No.107 発行/地域医療連携室



【沖縄病院 診療科の案内】

- ★肺がんセンター ★外科
- ★呼吸器内科 ★消化器一般内科
- ★脳・神経・筋疾患研究センター
- ★脳神経内科 ★緩和医療科
- ★放射線科 ★麻酔科 ★病理診断科

【沖縄病院 病床数：300床】

- ★がん専門病棟：60床
- ★神経筋病棟：145床
- ★緩和ケア病棟：25床
- ★結核病床：30床
- ★地域包括ケア病棟：40床

【目次】

- 1P：沖縄神経疾患病診連携Webセミナー
- 2P：国立病院機構沖縄病院 院長挨拶
- 3P：国立病院機構沖縄病院 特命副院長挨拶
- 4P：栄養管理室紹介
- 5P：部門紹介・連携室便り
- 6P：連携病院紹介

基本理念
患者さまの立場を尊重し
高度で良質の医療を提供します

運営方針

1. 政策医療を中心に、質の高い適切な医療サービスの提供
2. 患者さまの視点に立った、温かく思いやりのある接遇
3. 健全な経営基盤の確立
4. 安心して療養に専念できる快適な環境
5. 臨床研究の活性化と臨床教育・研修機能の充実

GINOWAN CITY FM 81.8Mhz
ぎのわんシティFM

毎週月曜日9時30分から当院職員による病気に関する様々な情報をラジオ放送しております。当院HPにも放送内容を掲載していますのでご覧ください。

院長
だより

沖縄病院がめざす持続可能な開発目標(SDGs)



国立病院機構 沖縄病院 院長 川畑 勉

ゐーそーぐわちでーびる(明けましておめでとうございます)。今年(くとうし)ん、ゆたさるぐとうにげーさびら(今年もどうぞよろしく願いいたします)。平素は当院の診療と運営にご協力を賜り心から感謝申し上げます。この便りが皆様のお手元に届く頃は沖縄では旧正月、桜祭りの時期と重なることから冒頭のうちなーぐちでのご挨拶とさせていただきます。

さて、第5波の収束も束の間、新たにオミクロン株の感染拡大で県内の医療フェーズは一気に上昇しています。県内すべての医療機関がゆいまーる精神で手を携えて何とかこの難局を乗り越えていきたいものです。

振り返ってみますと、当院の令和3年度は新たに呼吸器腫瘍科医長とがんセンター東病院から若手の呼吸器外科専門医2人を迎え、コロナ禍でも肺がん診療に支障をきたさない、診療遅れとならない診療体制を組むことができました。当院職員及び連携施設の皆様のご協力に心から感謝申し上げます。

令和4年度の当院のSDGsの一つが肺がんセンターの充実です。令和4年度後半には放射線治療装置も、ハイスペック機能を搭載した機種への更新が決まりました。これまで、当院での放射線治療が困難であった脳・脊椎・大動脈近傍の病変でも、呼吸性移動のため治療が困難であった肺末梢の小結節(小さな転移)に対しても、照射が可能となります。放射線治療部門では、新たに専任の治療専門医を迎え、当院肺がんセンターでの治療の幅は大きく広がります。さらに、従来のがん組織の遺伝子変異に基づく分子標的薬・免疫チェックポイント阻害剤などの組み合わせから、最も治療効果が高い化学療法(個別化治療)を実践する呼吸器内科・腫瘍科部門と肺機能を温存し、かつ根治性を追求する外科部門とが融合する肺がん治療の治療成績は、全国の癌拠点病院に引けを取っておりません。今年も、さらに精進を重ね県民の負託にこたえるべく、肺がんセンターから様々な医療情報を発信して参ります。

本年も、地域の皆様と連携して患者ファースト、真に求められる医療を提供できる病院づくりに邁進いたしますので、ご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

令和4年2月(旧正月の頃)



中庭の桜と野鳥



病院外観



特命副院長 渡嘉敷 崇

高齢化社会の進行により運動機能や認知機能の低下を有する方の割合が増加しています。脳神経内科で対応するパーキンソン病および関連疾患や筋萎縮性多発性硬化症などの神経変性疾患にも同様な傾向が見られます。

コロナ禍の状況で患者さんやご家族を取り巻く環境は一変しました。リハビリに通えない、通院回数が減った、コロナで面会制限がありなかなか家族と会えないなどご本人やご家族にも我慢が強いられる生活だと思えます。

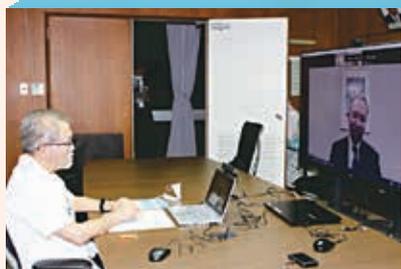
脳神経筋疾患では機能を維持し改善するためにはリハビリテーションの継続及び薬剤調整が重要と考えておりますが、コロナ禍により通院・通所に支障をきたしている患者様も多くいらっしゃいます。

そのような社会状況も鑑みて当院では病診連携の一環として、集中してリハビリテーションを行って頂くためにリハビリ強化入院の促進に取り組んでいます。昨年12月1日に国立病院機構長崎病院特命副院長松尾秀徳先生に病診連携をテーマに地域の先生方向けにリモート講演会を行って頂きました。今後も先生方にイメージして頂きやすい病診連携とそ強化のためにリモート講演会や情報発信を行っていきいと考えております。

リハビリテーション以外に当院が得意とするところはパーキンソン病及び関連疾患では薬物調整、嚥下機能・声帯外転麻痺の評価、デュオドーパの導入や適応（首下がりやジストニアなど）によってはボツリヌス治療も行っています。

診断のためにMRI、RI検査（脳血流シンチグラム、MIBG心筋シンチグラム、ドーパミントランスポータースキャン（Dat Scan）など）、CTなどの画像検査、神経心理検査や脳波・神経電気生理検査などを必要に応じ実施し、精度の高い診断を行い各神経筋疾患の治療に取り組んでいます。

益々、我々のような専門病院と地域のかかりつけの先生方との連携が患者さんやご家族のより良い生活のためにがんばっていきたいと考えています。



栄養管理室の紹介

栄養管理室は、
病院職員 管理栄養士 2名、
他委託職員で美味しいお食事
の提供に励んでいます!!



栄養管理室長 赤坂 さつき

当院の運営方針の中で『見えないもの』も大切に、ぬちぐすい『沖縄病院にきてよかった』と言ってもらえる医療サービスの提供があります。

それにリンクして栄養管理室の運営方針は、『心のこもった安全で美味しい食事の提供』を掲げています。抗がん剤や放射線の治療を受けている患者さんの中には、食欲低下がみられる方もいらっしゃいます。「おふくろの味を再現してほしい。」との声をいただいて個別対応をすることもあります。

新型コロナ感染対策で制限のある中でも、食を通じて自宅で過ごしているような工夫、入院生活・治療の一助になればと思いチーム一丸で取り組んでいます。

食事の形態を変えることで、患者さんの満足度が下がらないように摂食嚥下認定看護師・言語聴覚士・調理師と日々、研究をしています。また行事食を通して季節を感じていただけるよう、郷土料理と和食の調和をモットーにがんばりたいと思います。

行事食のご紹介

土用の丑の魚



クリスマス



常食



ソフト食



迎春



元旦献立

- ・いなむるち
- ・海老養老煮
- ・厚焼き卵
- ・のし鶏
- ・梅人参と温野菜
- ・田芋のでんがく
- ・ご飯

西2病棟

病棟紹介



竹島 銀治 病棟師長

西2病棟は、神経難病病棟50床の病棟で、進行性筋ジストロフィーやALSなどの神経・筋難病患者の日常生活援助を主体とする病棟です。入院中の患者さんの中には、療養介護契約を結ばれ療養されている方もあり、病棟が生活の場であるため、患者さんや家族の意向を取り入れ、限られた四肢の残存機能を活かしながらその人らしく日常生活を送ることができるよう看護・介護ケアの提供を行っています。令和2年度より、新型コロナウイルス感染症対策のため、患者家族の面会が制限される中、オンライン面会の実施等、患者家族への精神的支援が行なえるよう今後も努めています。また、新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い、当院では地域包括ケア病棟を一時的に閉鎖したので、呼吸器内科や一般患者の入院を受け入れ、患者が安心して医療が受けられるように努めています。

沖縄病院の基本理念として「患者様の立場を尊重し高度で良質の医療を提供します」とあります。その中でも患者さんが安心して落ち着いた環境の中で、治療や看護が受けられるよう、病棟医長、看護スタッフ一同これからも協働し、感染管理を徹底し病棟を運営していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



病棟入口



カンファレンスの様子



病棟の様子



ディルーム

地域連携
だより

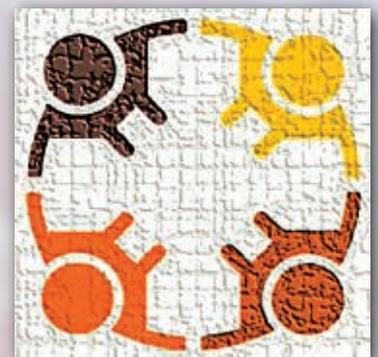
医療連携推進登録医制度について

当院では、地域の医療機関と相互に協力して医療連携を推進する事が、現在の医療構造上重要と考えております。そこで、医療連携を推進するにあたり、日頃からの顔の見える連携を構築しておく必要を考え、「医療連携推進についての取り組み」を計画しております。今後とも、地域の医療機関と連携強化を図りたく、是非とも「医療連携推進制度」への登録をお願いいたします。

(令和4年2月現在、「医療連携推進登録医療機関」43施設)

医療連携推進の取り組み内容

1. 登録医療機関と、肺がん症例検討会など呼吸器疾患や神経筋疾患に関する研修会を定期的で開催し、地域の医療機関と病病連携の推進を図ります。
2. 緩和医療に関する症例検討会を行い、地域の医療機関と在宅看取りについての研修会を計画いたします。
3. 当院の専門性を活かし、地域の先生方のお困りな症例について、お気軽にご相談いただけるよう親睦会の企画をいたします。
4. 院内掲示及びホームページに「医療連携推進機関」として紹介いたします。
5. 当院が発行する地域医療連携ニュースに、「医療連携推進機関」として定期的に情報を掲載いたします。
6. 当院が開催する各種講演会、研修会についてご案内いたします。





沖縄病院と連携していただいている医療機関をご紹介します



嶺井 聡 理事長



嶺井第一病院



嶺井リハビリ病院



介護医療院にしばる



医療法人大平会 嶺井第一病院

◆**嶺井第一病院**：急性期病床25床、回復期リハビリ病床78床
 診療科目：脳神経外科、整形外科、放射線科、内科、漢方内科、泌尿器科、
 リハビリテーション科、心臓血管外科

検査機器：MRI,CT,RI,DEXA,脳波,エコー,上部消化管内視鏡等

所在地：〒901-2113沖縄県浦添市大平466

休診日：日曜日、祝祭日

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前 8:30~12:30	◎	◎	◎	◎	◎	◎
午後 1:30~16:30	◎	◎	◎	◎	◎	

◆**嶺井リハビリ病院**：医療療養型病床168床
 (医療区分2~3：経管栄養、酸素吸入、気管切開、人工呼吸器)

所在地：〒901-2131沖縄県浦添市牧港3-1-10

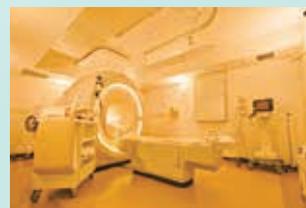
診療時間	月	火	水	木	金	土
午前 8:30~12:30	◎	◎	◎	◎	◎	◎
午後 1:30~17:30	◎	◎	◎	◎		

◆**介護医療院にしばる**
 II型介護医療院 100床
 所在地：〒901-2101沖縄県浦添市西原3-20-10

2021年(令和3年)4月より私、嶺井聡が理事長に就任しました。初代理事長の嶺井進、前理事長の嶺井美奈子からの伝統を引き継ぎながら、時代にあった地域に根ざしたよりよい医療をめざして行こうと思います。

嶺井第一病院は1976年(昭和51年)12月脳神経外科嶺井病院(33床)で開設以来、CT、MRI等の診断機器をいち早く導入し、脳神経疾患の早期診断をこころがけて参りました。2000年(平成12年)8月には回復期リハビリテーション病棟を開設し、急性期治療を終えた患者さんのリハビリテーションを行っています。嶺井リハビリ病院や、介護医療院にしばるでは、療養が必要な方への場を提供しています。

かねてより沖縄病院様には、当院で診断や治療が困難な症例で、大変お世話になってきました。地域における医療・介護の提供をより良いものとするために今後ともよろしくお願ひします。



各種医療機器